

承德市への派遣生を引率して

小関 成弘（副団長）

会社時代に中国へはたびたび訪問していましたが、承德市への訪問は、初めてで、さらに5名の派遣生を引率しての重責で緊張の連続でした。今回の承德市への訪問で、感じたことを次に記したいと思います。

1. ホームステイ

今回は、日本からの派遣生が、日本に來日した中国派遣生の家庭にホームステイしたこともあり、打ち解けるのが早かったと思います。ホームステイ先の家庭の子供さん達（高校生）は、承德市の名門校（TOP 1位&2位の高校）の学生さん達で、品性・人間性が高く、また家庭・家族も、しっかりとしており、受入れ機関で吟味頂いたと思われます。このご家族とは長い付き合いになることでしょう。

2. 歓迎

盛大な歓迎を受けました、大変な驚きと共に、承德市、承德市的外交・国際関連機関、市民の方々の柏市に対する友好と交流、両市の発展に対する熱い思いを強く感じました。団長と副団長は、今回の5泊6日のうち、主催者は別々でしたが、5回の宴席を設けて頂きました。

3. 名所・遺跡参観

準備して頂いた、名所・遺跡への参観等は、非常に盛りだくさんで、これ以上は無理であろう内容と規模でした。また、日本語通訳の方の手配も万全で、支障なく安全に視察・参観することができました。しかし、参観する人が驚くほど多く、派遣生が写真を撮る等でグループを離れた時など、はぐれないか心配しました。

4. 要望

承德市、承德市的外交・国際関連機関、市民の方々が、柏市に対する友好、良好な交流や両市の結びつきが強まることを望んでいることを深く感じました。言葉ではなかなか伝え難く、是非、柏市の幹部の方々や市民の方々が、同市を訪問し、肌で感じて頂ければと思います。

今後も、柏市と承德市の姉妹都市交流のさらなる発展と将来を担う人材育成の支援の一助になればと思っています。

